

芸術系大学における授業を地域社会へ発信する事例の研究

「構成された光展」をとおして

THE STUDY OF THE EXAMPLE TO SEND A CLASS IN THE UNIVERSITY OF DESIGN TO THE COMMUNITY

Through The "Constructed Light Exhibition"

久富 敏明 デザイン教育研究センター 准教授
友定 聖雄 先端芸術学部クラフト・美術学科 教授
荒木 優子 デザイン学部ビジュアルデザイン学科 教授
小山 明 デザイン教育研究センター 教授
田頭 章徳 デザイン学部プロダクトデザイン学科 助教

*1) 註に記載するリストと合わせて共同研究者とする。

Toshiaki HISATOMI Center for Design Studies, Associate Professor
Masao TOMOSADA Department of Crafts and Arts, School of Progressive Arts, Professor
Yuko ARAKI Department of Visual Design, School of Design, Professor
Akira KOYAMA Center for Design Studies, Professor
Akinori TAGASHIRA Department of Product Design, School of Design, Assistant Professor
Other cooperative research members are listed in a note

要旨

本研究は、芸術系大学における授業開発の試みである。「構成された音と光」を共通テーマとして、基礎分野科目と専門分野の異なる複数の授業で制作された作品の展覧会を開催した。

展覧会の運営（博物館学芸員課程）や記録制作（映像表現学科の科目）についても授業の一環として実施された。複数の異なる分野の授業が連携することによって、各々の授業の枠組みを超えた教育効果を得ることができた。

また、展覧会のテーマである「音と光」の関連性を明らかにするためにマリンバの演奏会を共催した。演奏曲目の楽譜の読み込みや音楽から感じ取ったイメージを元に造形作品をつくる演習課題が開発された。

これらの成果の相乗効果によって、大学における教育を地域社会へ広く発信することが出来た。

Summary

This study is a trial of the class development in the university pro-art.

We held the exhibition of a work produced "Constructed sound and light" it by field of basics subject and the different class of plural specialized subjects as a common theme.

It was carried out as a part of the classes about administration (Curatorial Training Program) and the record production (the subject of the Department of Image Arts) of the exhibition.

Because the class of plural different fields cooperated, we were able to get an education effect beyond the frame of each class.

In addition, we cosponsored the concert of the marimba to clarify relevance of "a sound and light" that were the theme of the exhibition.

Practice to settle a molding work for the cause for the image that we took in was developed by reading and music of the score of the performance program.

By synergy of these results, we were able to send education in the university to the community widely.

1) 目的

本研究は、芸術系大学における授業開発の試みである。開発された授業の成果を地域社会へ発信することによって教育活動の活性化を目的としている。

また本研究の特徴は「構成された音と光」をテーマに設定することによって、異なる専門分野における共通教育のプラットフォームをつくる事にある。分野を超えた複数の授業と研究室の取組みをひとつの展覧会で同時に提示する事は、領域横断的な教育の可能性を持っている。

2) 「構成された光展」について

「構成された光展」は、2008年に第1回^{*2)}、その後毎年開催し第2回^{*3)}、第3回^{*4)}を経て2011年第4回^{*5)}を実施した。「構成された光展」は、回を重ねる毎に参加する授業が増え全学的な取組みとして実施されて来ている。また、展覧会運営に「博物館学芸員課程」が参加することによって作品展示を超えた教育的意義を持つ事となっている。

3) 第4回「構成された光展」

2011年12月20日に第4回「構成された光展」を開催した。第3回より参加授業が増えた専門学科の授業とゼミ、また学生有志による屋外の蠟燭作品と構成作品が加わった。



図1) クラフト・美術学科「素材と加工法（担当教員：市野）」学生作品

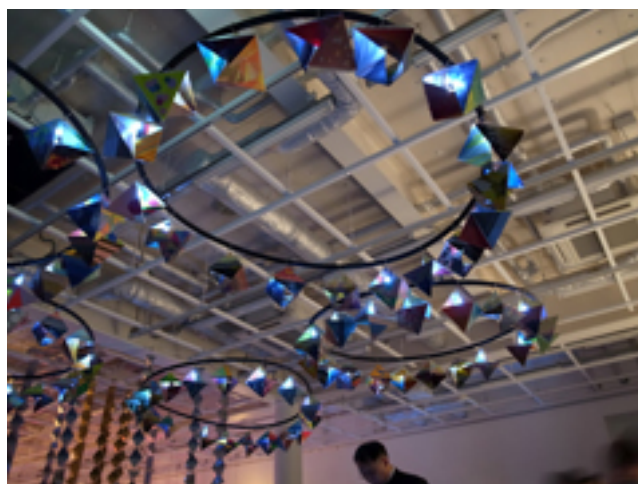


図2) ビジュアルデザイン学科「グラフィックデザイン基礎（担当教員：荒木）」学生作品 Color Space

マリンバ演奏曲を聴き、楽譜を読み込むことから発想された学生作品



図3) 手前：ファッションデザイン学科「ファッションデザイン空間（担当教員：瀬能）」学生作品



図4) プロダクトデザイン学科「プロダクト基礎実習Ⅱ（担当教員：見明 田頭）」学生作品 LED Lamp Shade



図5) 上部天井吊り展示 基礎分野科目「デザイン基礎特別演習C (担当教員: 小山 鈴木)」学生作品 星の本

床置展示 基礎分野科目「コンピュータ演習 (担当教員: 松本朋子 谷口正博 吉羽 相澤 永田 中山 大内 久富)」学生作品 100 Circles

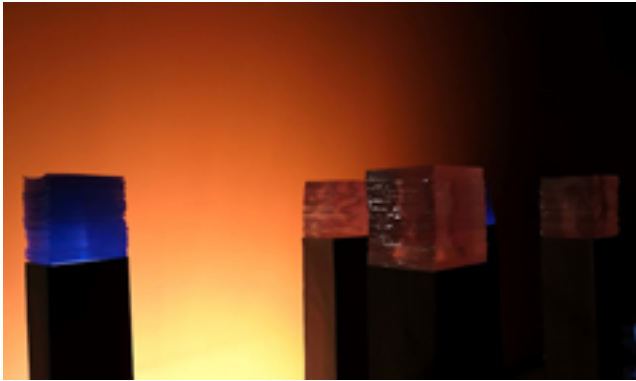


図6) 環境・建築デザイン学科 藤山ゼミ学生作品



図7) 手前及び床置展示 基礎分野科目「デザイン基礎特別演習B (担当教員: 中山 久富) 学生作品 SKIN



図8) 左奥 博物館学芸員課程 (担当教員: 山崎) による会場運営

奥 光展コアスタッフ学生作品 Christmas Tree



図9) クラフト・美術学科 友定ゼミ 学生作品 GLASS BALL



図10) 光展学生スタッフ作品 1000 Candles

4) 「構成された音と光」

第3回「構成された光展」に引き続き今回の展示のサブテーマを「構成された音と光」とした。ビジュアルデザイン学科授業科目「グラフィックデザイン基礎」の演習課題では演奏曲を聴き楽譜を読み込むことから造形作品をデザインした。展覧会では、音楽から発想された造形作品と名倉誠人による演奏を同時開催することが実現した。



図 11) 名倉誠人マリンバコンサート 奥のギャラリースペースに「グラフィックデザイン基礎」作品が展示されている。

5) まとめ

一般の方々と本学学生を合わせて約 300 名を超える来場があった。「構成された音と光」のテーマの元、造形作品とマリンバの音楽が融合し総合的な芸術空間が現れた。作品展示にマリンバの演奏が加わることによって限られた時間の中の1度限りの特別な展覧会となった。開発された授業を地域社会へ発信する有意義な機会が実現されたと捉えている。

註

1) 共同研究者リストの続き

橋本英治、先端芸術学部映像表現学科教授
 山崎均、デザイン教育研究センター教授
 市野元和、先端芸術学部クラフト・美術学科教授
 鈴木明、デザイン学部環境・建築デザイン学科教授
 藤山哲朗、デザイン学部環境・建築デザイン学科准教授
 瀬能徹 デザイン学部ファッションデザイン学科准教授
 見明暢、デザイン学部プロダクトデザイン学科助教
 尹智博、デザイン教育研究センター助手
 Cooperative research members,

Eiji HASHIMOTO, Department of Image Arts, School of Progressive Arts, Professor

Hitoshi YAMAZAKI, Center for Design Studies, Professor

Motokazu ICHINO, Department of Crafts and Arts, School of Progressive Arts, Professor

Akira SUZUKI, Department of Environmental Design, School of Design, Professor

Tetsuro FUJIYAMA, Department of Environmental Design, School of Design, Associate Professor

Toru SENOU, Department of Fashion and Textile Design, School of Design, Associate Professor

Nobu MIAKE, Department of Product Design, School of Design, Assistant Professor

Jibak YOON, Center for Design Studies, Assistant

2) 第1回「構成された光展」

<http://www.youtube.com/watch?v=0Jp5-u9Z4ns>

(最終アクセス日 2012 年 7 月 25 日)

3) 第2回「構成された光展」

http://www.youtube.com/watch?v=FOvNLEmYR_8&feature=related

(最終アクセス日 2012 年 7 月 25 日)

4) 第3回「構成された光展」

http://www.youtube.com/watch?v=u_huwetzofk&feature=related

(最終アクセス日 2012 年 7 月 25 日)

5) 第4回「構成された光展」

<http://www.youtube.com/watch?v=1Aui7aGpsXE>

(最終アクセス日 2012 年 7 月 25 日)

図版出典

- 1) ,2) ,3) ,4) ,6) ,7) ,9) ,11) 筆者撮影
- 5) 小山明撮影
- 8) ,10) 小林清美撮影